

普通徴収切替理由書

| | | | |
|-------|-----|------|--|
| 市区町村名 | 流山市 | 指定番号 | |
| 事業者名 | | | |

| 符号 | 普通徴収切替理由 | 人数 |
|------------------------------|--|----|
| 普A | 該当従業員数が2人以下 該当従業員＝総従業員数－下記「普B」～「普F」に該当する従業員数(他市区町村報告者を含む) | 人 |
| 普B | 他の事業所で特別徴収(乙欄該当者など) | 人 |
| 普C | 給与が少なく税額が引けない (年間の給与支給額が965,000円以下を含む) | 人 |
| 普D | 給与の支払が不定期 (例:給与の支払が毎月でない) | 人 |
| 普E | 事業専従者(個人事業主のみ対象) | 人 |
| 普F | 退職者、休職者、退職予定者・休職予定者 (5月末日まで) | 人 |
| ※A～Fの6項以外を理由とする普通徴収は認められません。 | | 合計 |
| | | 人 |

- 普通徴収とする場合は、給与支払報告書(個人別明細書)の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。
- この普通徴収切替理由書の提出がない場合、特別徴収となります。
- 合計には、普A～普Fの人数の合計を記入してください。また、その人数を総括表の「15 報告人員」欄「普通徴収切替理由書の合計人数」の部分に記入してください。